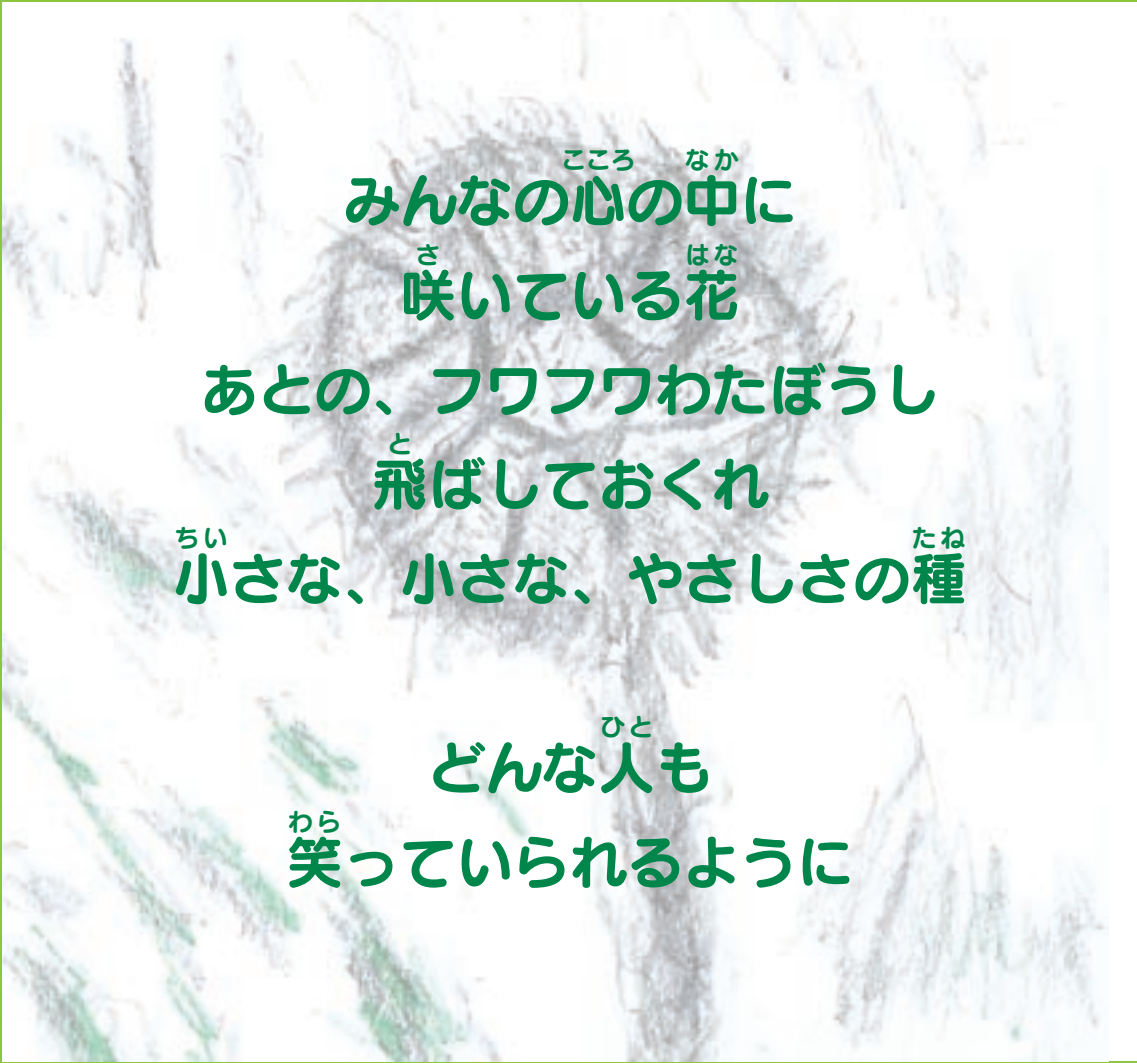


わたぼうし



多治見市福祉教育読本 小学生用

2012 年改訂版



みんなの心^{こころ}の中^{なか}に
咲^さいている花^{はな}

あとの、フワフワわたぼうし
と
飛ばしておくれ

ちい
小さな、小さな、やさしさの種^{たね}

どんな人^{ひと}も
わら
笑^{わら}ってられるように

いとう かずひろ
伊藤 一浩

も く じ

みつけよう

いろいろな人 ^{ひと} が暮 ^く らしています……………	2
家 ^{いえ} の中 ^{なか} で工 ^く 夫 ^{ふう} されているもの……………	4
まちの中 ^{なか} で工 ^く 夫 ^{ふう} されているもの……………	6

やってみよう

目 ^め が不 ^ふ 自 ^じ 由 ^{ゆう} になった体 ^{たい} 験 ^{けん} をしてみよう……………	8
目 ^め が不 ^ふ 自 ^じ 由 ^{ゆう} な人 ^{ひと} のためにあるもの ^し を知 ^し ろう……………	10
耳 ^{みみ} が不 ^ふ 自 ^じ 由 ^{ゆう} になった体 ^{たい} 験 ^{けん} をしてみよう……………	12
手 ^て 足 ^{あし} が不 ^ふ 自 ^じ 由 ^{ゆう} になった体 ^{たい} 験 ^{けん} をしてみよう……………	14
お年 ^{とし} よりになった体 ^{たい} 験 ^{けん} をしてみよう……………	16

かんがえよう

障 ^{しょう} がいのある人 ^{ひと} の生 ^{せい} 活 ^{かつ} を知 ^し ろう……………	18
できることから、はじめよう……………	21
こんなことをしています……………	22

しらべてみよう

多 ^た 治 ^じ 見 ^み 市 ^し には、た ^し くさ ^{せつ} んの施 ^し 設 ^{せつ} があ ^あ ります……………	24
総 ^{そう} 合 ^{ごう} 福 ^{ふく} 祉 ^し セ ^し ン ^ン タ ^タ ーは、こ ^こ んなと ^と ころで ^で す……………	26
いろいろなマ ^マ ークがあ ^あ ります……………	27

さんこう参考ページ

福 ^{ふく} 祉 ^し 体 ^{たい} 験 ^{けん} の ^{よう} 子 ^す と感 ^{かん} 想 ^{そう} ……………	28
赤 ^{あか} い羽 ^は 根 ^ね 共 ^き 同 ^{どう} 募 ^ぼ 金 ^{きん} ・ユ ^し ニ ^{ョウ} バ ^ウ ーサ ^ン ルデ ^{しょう} ザ ^ウ インの ^し 商 ^{しょう} 品 ^{ひん} ……………	29

みつけよう！

～いろいろな^{ひと}く^くが暮らしています～

わたしたちのまわりでは、いろいろな人が暮らしています。
どのような人たちとかかわりあって^{せいかつ}生活しているか、みんなで^{かんが}考えてみましょう。



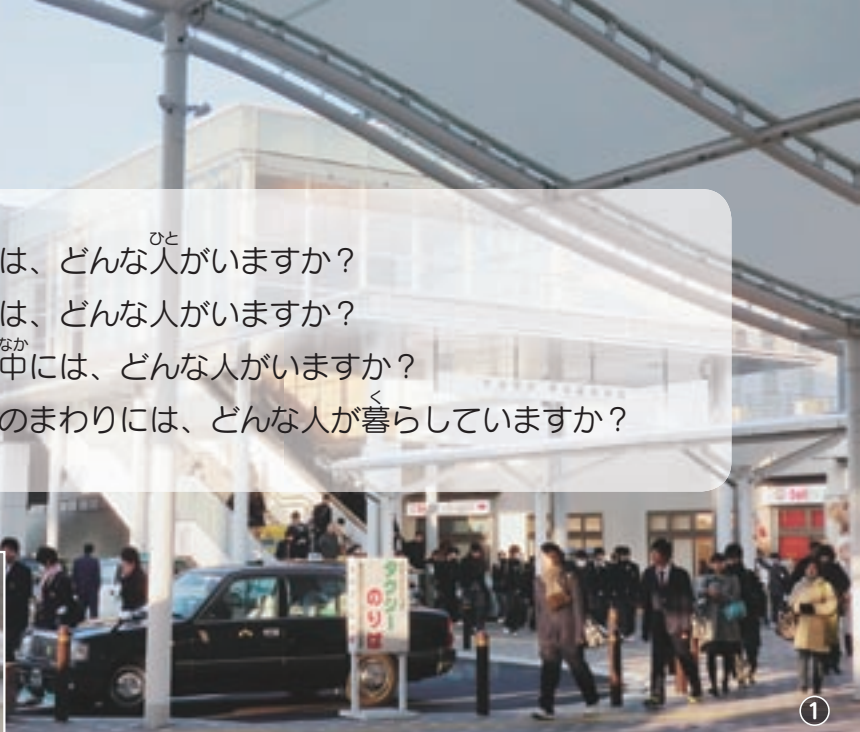


家族には、どんな人がいますか？

学校には、どんな人がいますか？

まちの中には、どんな人がいますか？

あなたのまわりには、どんな人が暮らしていますか？



みつけよう！

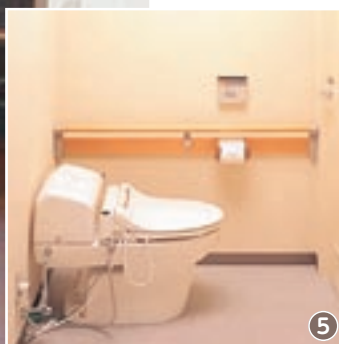
いえ なか くふう ～家の中で工夫されているもの～

家の中には、いろいろな人が生活しやすいように、工夫されたものがたくさんあります。転ばないように工夫、さわってわかるしるし、音や光で知らせる便利な電化製品など、たくさんの工夫があります。

どこに、どんな工夫があるのか、みつけてみましょう。



どっちの玄関が使い
やすいかな？





シャンプーとリンスの容器は、^{ようき}同じ形をしてい
ます。

目をつぶったまま、^て手でさわって、どちらがシャ
ンプーかあててみましょう。

ほかにも、さわってわかるものや、^{おと ひかり し}音や光で知
らせてくれるものをさがしてみましょう。



どっちが、シャンプー
かな？



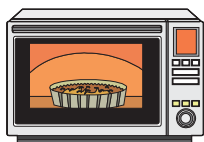
①



②



③



どっちの罐が、
^{ちや}お茶かな？



④

5

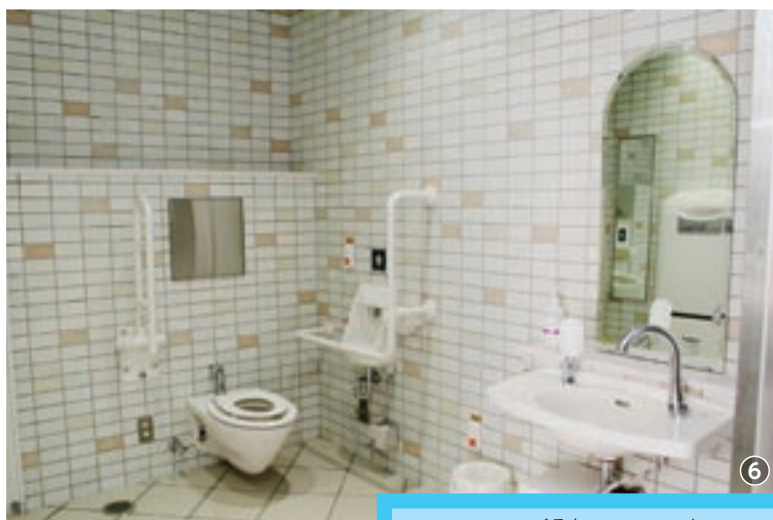
いえの中には、生活しやすいように工夫されたものが、たくさんありましたね。外へ出ると、道路や公園、バスや電車などの乗り物、児童館や図書館などの公共施設、買い物や食事をするお店などがあります。

まちの中では、どんな工夫がしてあるのか、みつけてみましょう。





たてもの なか
建物の中だけではなく、建物へ行くまで
どうろ ちゅうしゃじょう くふう
の道路や駐車場などに工夫してあるもの
を、みつけてみましょう。



あなたがくるまをつかっていたら…
目がふじゆうだったら…
うれしいのはどんなこと？



目が不自由とは、どういうことだろう？

わたしたちは、見る^みことによって、身のまわりのことがわかります。
目が不自由でよく見えないと、どこに何があるのか、誰^{だれ}が何をしているのか、わかりません。そのため、手でさわったり音^{おと}を聞いたり、目のかわりとなるもの^{つか}を使いながら、生活^{せいかつ}しています。

◆ひとりある 一人で歩いてみよう

目かくしをした人^{ひと}と、見守^{みまも}る人が二人一組^{ふたりひとくみ}になって、歩いてみましょう。

たとえば

きょうしつ なか
教室の中を歩いてみる。

トイレまで歩いてみる。

目かくしをした人

かべ もの
壁や物にぶつかってけがをしないように、ゆっくり歩きましょう。

見守る人

目かくしをした人を、近く^{ちか}で見守りましょう。

目かくしをした人が危険^{きけん}なときや、違った方向^{ちが ほうこう}へ行きそうなときは、声^{こえ}をかけたり
てだす
手助けしたりしてあげましょう。



目かくしをして一人で歩けましたか？

なれた場所^{ばしょ}でも、どこに何があるか、誰が何をしているのか、よくわかりませんね。

◆ふたりひとくみ ある 二人一組で歩いてみよう

つぎは、め 目かくしをした人と、ひと あんない 案内をする人が二人一組になって、歩いてみましょう。



目かくしをした人

どのように案内してほしいのか、案内する人に^{つた}伝えましょう。

たとえば

て 手を引いてもらう。

かた うで 肩や腕をかしてもらう。

案内をする人

目かくしをした人が^{あんしん}安心して歩けるように、まわりのようすを^{はな}話しながら、手を引いたり自分の^{じぶん}肩や腕をかしたりしましょう。



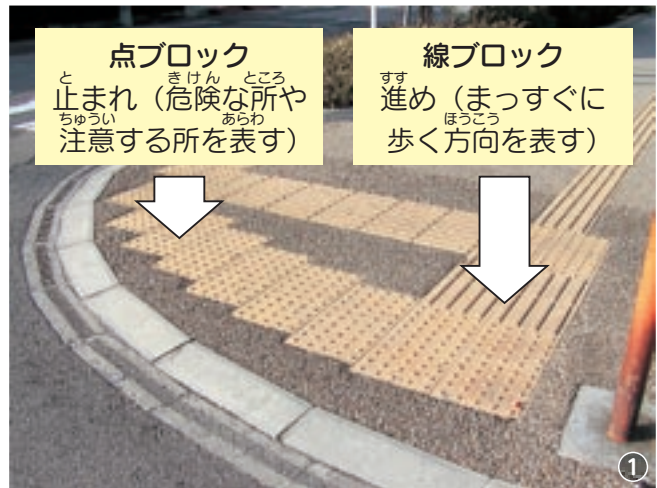
はじ 歩き始める時とき と 止まる時は、かなら こえ 必ず声をかけましょう。

階段や段差^{だんさ}などの^{あぶ}危ない^{ところ}所でも、いちどた 一度立ち止まってから、「のぼり階段があります」「階段をのぼります」「階段は^お終わりです」というように、くわしく伝えましょう。

◆点字ブロック

歩道に黄色のブロックがあるのを知っていますか？

これは「点字ブロック」といって、目の不自由な人がたどって歩くための道しるべです。線になったブロックと、点になったブロックがあり、足の裏で、でこぼこを確かめながら歩いたり、交差点や階段などの場所を知ったりするために役立ちます。



点字ブロックの上で立ち止まったり、自転車などを置いたりして、大切な道しるべをうばわないように、気をつけましょう

◆白杖

白杖は、目の不自由な人が、歩くときに使います。白杖の先で、階段の始まりや終わり、段差や電車とホームのすきまなど、あたりのようすを確かめながら歩きます。白杖は、目のかわりとなる大切なものです。



白杖は、まわりの人に目の不自由なことを知らせる「しるし」でもあります。困っている人を見かけたら、「お手伝いしましょうか」と声をかけましょう。

◆もうどうけん 盲導犬

盲導犬は、目の不自由な人が安全に歩けるように、目のかわりとなって働いています。

スーパーなどのお店に入ることもできるし、バスや電車に乗ることもできます。

盲導犬は、こうした大事な仕事をするために1年以上のきびしい訓練を受けています。

また、盲導犬の他にも、体の不自由な人が歩くのを支えたり、立ち上がるのを助けたり、その他身の回りの手伝いをしたりする介助犬や、耳の不自由な人に、音が鳴っていることを知らせる聴導犬がいます。



仕事をしている盲導犬に「かわいい」と声をかけたり、頭をなでたりしてはいけません。大事な仕事に集中できなくなり、目の不自由な人を危険な目にあわせてしまいます。

盲導犬を見かけたら、そっと応援してあげましょう。

◆てんじ 点字

点字は、指でさわって読む文字です。

一つの文字は、縦3点、横2点の6つの点の組み合わせでできています。

あ	い	う	え	お
●—	●—	●●	●●	—●
—	●—	—	●—	●—
—	—	—	—	—
か	き	く	け	こ
●—	●—	●●	●●	—●
—	●—	—	●—	●—
—●	—●	—●	—●	—●



国語の教科書（4年・上）に、点字が紹介されています。

参考にして、読んでみましょう。

耳が不自由とは、ということだろう？

わたしたちは、聴くことによって、身のまわりのことがわかります。
耳が不自由でよく聴こえないと、話し声や物音が聴きとれず、話しかけられても会話ができません。また、サイレンや警報機が鳴っても、わかりません。いつも、身のまわりのことに、目で注意をしています。

◆声を出さずに伝えてみよう

身ぶりや手ぶりだけで、自分の言いたいことを相手に伝えてみましょう。

たとえば

朝ごはんは何を食べたか伝える。

きのう見たテレビの内容を伝える。

何をするのが好きなのか伝える。



うまく伝わったかな？ 他にも、「手話」や、紙や手に字を書く「筆談」、相手の口の動きを読む「口話」などがあります。
いろいろな方法で、伝えてみましょう。

◆手話を知ろう

手話は、手の動きや表情で、自分の考えや気持ちを相手に伝えることができる「ことば」です。手話には、物や生き物の形をまねたものや、物の動きや人の動作をまねたものもあります。

おはよう

まくら あたま
枕から頭をあげて起きるようす



りょうて さし ゆび
両手の人差し指を、ちょっと曲げ、おじぎをしているようす



こんにちは

とけい はり
時計の針が 12 時になったようす



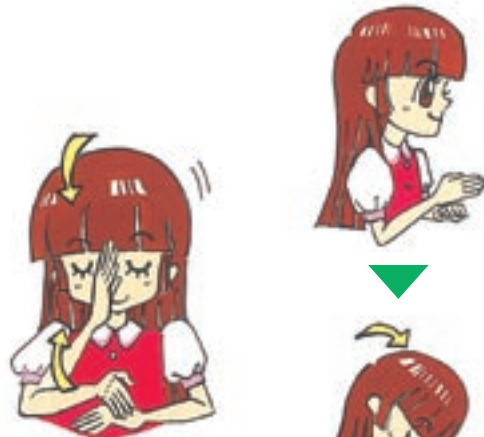
こんばんは

たいよう しず
太陽が沈んで、暗くなるようす



ありがとう

しやうきん う
すもうで、賞金を受け取るようす



手の動きだけでなく、顔の表情や口の動き、からだ全体の動きを使って気持ちをあらわしましょう。

手足が不自由とは、どういうことだろう？

ふだん何気なく使っている手や足が、けがや病気などで使えなくなったら、どうしますか？

いつもは、簡単にできることが、なかなかできなかったり、手助けが必要となったりして、生活が不便になることが、たくさんあります。

◆片手でやってみよう

利き手を後ろに回して、片手だけで、いろいろなことをしてみましょう。

たとえば

字を書いたり、消しゴムで消したりする。

のりのキャップをとる。

はさみで紙を切る。



うまくできたかな？

友だちと助け合いながらやってみましょう。



◆片足でやってみよう

片足が曲がらないように、ひざにダンボールをあてて、いろいろなことをしてみましょう。

たとえば

歩いてみる。

くつをぬいだり、はいたりする。



うまくできたかな？

友だちと助け合いながらやってみましょう。



◆くるま 車いすのしくみを知ろう



◆たいけん 車いす体験をしよう

- ①ブレーキをかけて、人を乗せる。
- ②車いすに乗った人の足を、フットレストに乗せる。
- ③「動きますよ」と声をかけてから、ブレーキをはずし、動かす。

へいち 平地

後ろから、ゆっくりとおす。

人ごみの中では、フットレストが人に当たらないよう注意する。

ざか のぼり坂

後ろから、少し体を前にかたむけて、1歩ずつしっかりと押す。

ゆるやかなくだり坂

前向きで、車いすを自分の方へ引きよせながら、くだる。

きゆう 急なくだり坂

後ろ向きで、1歩ずつゆっくりと、くだる。

ハンドブレーキを軽くかけながら、くだるほうがよい場合もある。

- ④「止まりますよ」と声をかけてから、止めて、ブレーキをかける。



じゃり道や、公園のしばふのようなやわらかい地面では、うまく動かせないので、十分に気をつけましょう。

わたしたちの周りには、いろいろなお年よりの人がいます。

お年よりは、今までにいろいろな経験をして、たくさんの知恵や知識をもっていますので、生活の知恵や昔の遊びを教えてください。

また、元気で働いている人もいれば、病気などで体が不自由になった人もいます。年をとると、若い時に比べて、目が見えにくくなったり、耳が聞こえにくくなったり、体の動きがゆっくりとなったりもします。

どんな感じなのか体験してみましょう。

◆目が見えにくい体験をしよう

ゴーグルに、セロテープをたくさん重ねて貼り、いろいろな物を見てみましょう。

たとえば

本を読む。

黒板の文字や掲示物を見る。

外の景色を見る。



◆手先が動きにくい体験をしよう

軍手を2枚重ねてはめ、いろいろなことをやってみましょう。

たとえば

筆箱から鉛筆を取り出し、字を書いたり、消しゴムで消したりする。

本のページをめくる。

針に糸を通す。



◆からだ うご たいけん 体が動きにくい体験をしよう

「ひじ」と「ひざ」が動きにくくなるように、新聞をまきつけ、ガムテープなどで固定して、いろいろなことをやってみましょう。

たとえば

お 落ちて いる 物を ひろう。
かいだん 階段を、のぼりおりする。
た 立ったり、すわ 座ったりする。



◆とし お年よりとふれあおう

じぶん 自分のおじいさんやおばあさん、きんじよ 近所のお年よりから、むかし はなし き 昔の話を聞いたり たの あそ 楽しい遊びを おし 教えてもらったりしましょう。

たとえば

がっこう ちいき れきし 学校や地域の歴史
昔の遊びや食べもの
しょうがくせい 小学生のころの思い出



「おはじき」を教えてもらっています



なが 「流しそうめん」を楽しんでいます



かざぐるまづくり 「風車作り」を教えてもらっています

わたしたちのまわりには、障がいのある人がわたしたちと同じように生活しています。

どんな生活をしているのか、少しでも教えてもらいましょう。

◆め ぶじゆう こばやしやすし 目が不自由な小林康史さん

- ・若いときに目が見えなくなりました。
- ・大阪の職業生活訓練センターで点字や歩行などの訓練をしたり、名古屋盲学校で鍼灸マッサージを学んだりしました。
- ・今は、自宅で鍼灸マッサージ治療院を開業して



ソフトボールを楽しむ小林さん

います。

- ・総合福祉セ

ンターでも週3回リハビリ指導を行っています。

- ・余暇はソフトボールを楽しみます。
- ・目が見えなくなったときはショックでしたが、気持ち切り替えて「次にどうするか」を考えました。



仕事中の小林さん

◆みみ かとうあきこ 耳が不自由な加藤昭子さん

- ・生まれつき耳が聴こえません。
- ・ご主人も耳が不自由ですが、手話で会話ができます。
- ・総合福祉センターやまなびパークの、手芸や陶芸、



加藤さんの作品

ガラス教室など、いろいろな作品づくりの教室に通いました。

- ・最近は、聴こえないことを知らせると、親切に筆談してくださる方が多いです。



皮細工でかばんを作る加藤さん

◆手足が不自由な伊藤一浩さん

- ・小さいころの病気が原因で、手足に障がいがあります。
- ・初めは手も足も動きませんでしたが、足の動きの訓練をして、足でペンが使えるようになりました。
- ・□に筆をくわえて描く星野富弘さんの詩画集に影響を受けて、足で絵を描いています。
- ・友達に会うために、一人でバスに乗って出かけることもあります。
- ・障がい者は見た目は良くないかもしれませんが、考えていることは皆さんと変わらないことを理解してほしいです。



絵を描く伊藤さん



伊藤さんの習字作品

◆つぎのページの詩を読んで考えてみよう

この詩は、伊藤さんが、学校帰りの小学生と出会ったときのように書かれています。
伊藤さんの気持ちの変化を考えてみましょう。

きみ 君たちに、ありがとう

いとう かずひろ
伊藤 一浩

ゆうぐ
夕暮れ
きろ いそ わたし
帰路を急いでいる私
となり に はし
その隣、逃げるみたいに走っていく
む
ランドセルの群れ

お こ
追い越して
じゅう ぜんぽう
十メートルほど前方
ふ む
振り向いている

ようじ
「なにか用事？」
は す さけ
吐き捨てるように叫ぶと
また、走って行った
い
そんなことの繰り返し
く かえ
私は、怖ささえ感じ——
こわ かん

すうねんご
数年後
びょういん ひ
病院へ行く日
おも こうけい
想いは、あのときの光景
けれど

「こんにちは」
しょうじょ えが お あたま さ
少女は、笑顔で頭を下げる
なら つぎ こ
それに倣うかのように、次の子も
次の子も

私も笑顔で下げていく
あした わ し
明日になれば、分からないかも知れない
けれど、きょうは
君たちに、ありがとう



こま 困っている人を見かけたとき、どうしますか？
どんなお手伝いができるか、今までに体験してきたことをふりかえり
ながら、相手の気持ちになって考えてみましょう。

◆きょう じぶんひとり 今日から、自分一人でもできること

困っている人を見かけたとき、一人でもできることはどんなことがあるか、考えてみましょう。

たとえば

でんしゃ 電車やバスでお年よりや妊婦さんに席をゆずる。
くるま 車いすで困っている人がいたら声をかける。

◆みんなで体験してみよう

自分たちでできることを考えて、けいかく 計画してみましょう。

たとえば

しょう 小年よりや障がいのある人の施設を訪問する。
てんじ 点字や手話をくわしくしらべる。



それぞれの小学校では、いろいろな活動をしています。
みなさんも、進んで活動の計画をたてて、参加や協力をしましょう。

養正小学校



アイマスクをつけて、目が不自由な人の体験をしました

精華小学校



赤い羽根共同募金と多治見市の水害への義援金を呼びかけました

共栄小学校



高齢者施設を訪問し、一緒にゲームをしたり会話を楽しんだりしてお年よりの人たちとふれあいました

昭和小学校



幼稚園交流を通して、小さい子の気持ちや関わり方について学びました

小泉小学校



高齢者施設を訪問して、お年よりの人たちとの交流を深めました

池田小学校



「秋のフェスティバル」に可茂特別支援学校の児童を招待し、交流を深めました

いのくらしょうがっこう
市之倉小学校



ちいき ころれいしゃせつ ほうもん
地域にある高齢者施設を訪問して、お
とし ひと ころりゅう ぶん
年よりの人たちとの交流を深めました

みなみひめ
南姫小学校



しょう しゃ みな ようい
障がい者施設の皆さんと、用意した
ゲームで交流しました

ほくえい
北栄小学校



車いすの体験やお年よりの擬似体験
をしました

かさばら
笠原小学校



高齢者施設を訪問し、お年よりの人
たちとの交流を深めました

たきろ
滝呂小学校



くるま たいけん あし ふじゆう
車いす体験をし、足が不自由な人の
たいけん
体験をしました

ねもと
根本小学校



高齢者の体の不自由さを体験しまし
た

わきのしま
脇之島小学校



お年よりの人たちとふれ合い昼食会
をし、いっしょに遊びました



- ▲：みんなのための施設
- ：こどものための施設
- ：おとしよりのための施設
- ：しょうひの障がいのある人のための施設



* みんなのための施設 *

市役所、保健センター、総合福祉センター、ふれあいセンター姫、サンホーム滝呂、
 かさはら福祉センター、まなびパーク、市民病院、県立多治見病院、東濃保健所

* 子どものための施設 *

● 児童館・児童センター

旭ヶ丘児童センター、市之倉児童センター、大原児童館、笠原児童館、共栄児童館、
 坂上児童館、太平児童センター（総合福祉センター内）、
 滝呂児童センター（サンホーム滝呂内）、中央児童館、根本児童センター、本土児童館、
 南姫児童センター（ふれあいセンター姫内）、脇之島児童センター

● 保育所

旭ヶ丘保育園、池田保育園、市之倉保育園、笠原保育園、北野保育園、共栄保育園、
 湊南保育園、小泉保育園、滝呂保育園、姫保育園、双葉保育園、前畑保育園、
 美坂保育園、若草保育園

● 発達支援センター なかよし、ひまわり

● 地域子育て支援センター

（センター型）池田保育園内、笠原保育園内、共栄保育園内

（ひろば型）笠原児童館内

● 子ども情報センター

* お年よりのための施設 *

● 生活している施設

愛の家、市之倉ひまわり、エバーグリーン、円、かさはら陶生苑、我家我家、グリーン
 ホームかさはら、さくらの杜、シュアー、住ま居る、清涼苑、太陽、たじみ陶生苑、
 多容荘、ニチイケアセンター太平町、花トピア姫、ビアンカ、ベルツリー、ホープ
 ※このほかにも、お年よりが家から通って、食事やお風呂などのサービスを受ける所や、
 家に来てもらって、食事やお風呂などのお手伝いをしてもらう所などがあります。

* 障がいのある人のための施設 *

● 昼間の活動をする施設

けやき、第2けやき、第一陶技学園、第二陶技学園、東濃自閉症援助センター「か
 さはら」、なごみの杜かさはら、はだし工房、ピュアハート姫、優が丘

※このほか、障がいのある人が共同生活をしながら、食事やお風呂などのお手伝いをし
 てもらう所や、家で食事やお風呂などのお手伝いをしてもらう所などがあります。

たじみし
多治見市総合福祉センター

たいへいちよう ちょうめ ばんち
多治見市太平町2丁目39番地の1
TEL 25-1131 FAX 25-1132



①

こ 子どものための施設 し せつ

● 太平児童センター（1階）

きゅうじつ げこう ともだち たの あんぜん あそ
休日や下校してからも友達と楽しく安全に遊べます。

● 母子福祉センター（3階）

おやかてい こうりゅう きょうしつ ひら
ひとり親家庭の交流や、いろいろな教室を開いています。



②

太平児童センター

とし お年よりのための施設

● 太平地域包括支援センター（2階）

お年よりの生活を手助けするために、相談にのったり、
ほうもん
訪問をしたりしています。

● 在宅老人デイサービスセンター（2階）

からだ ふじゅう しょくじ にゅうよく てつだ
体の不自由なお年よりの食事や入浴のお手伝いをしています。

● 老人福祉センター（3階）

いろいろな教室やサークルを開いて、健康や生きがいづくりをしています。



③

老人福祉センター

しょう 障がいのある人のための施設 ひと

● 障害者福祉センター（2階）

障がいのある人のために、いろいろな教室を開いてい
ます。



④

障害者福祉センター

みんなのための施設

● 社協たじみ（1階）（社会福祉法人多治見市社会福祉協議会）

だれもが安心して住みなれた地域で暮らせるように、いろいろな仕事をしています。

● ボランティアセンター（1階）

ボランティアをしたい人とボランティアをしてほしい人の紹介をしています。

しゅわ こうざ
手話などの講座を開いたり、相談にのったりしています。



◆国際シンボルマーク

このマークは、^{くるま}車いすを使っている人だけでなく、すべての^{しょう}障がいのある人たちが、^{りよう}利用できる^{たてもの}建物や^{こうきょうゆうそうきかん}公共輸送機関であることを示す、^{せかいきょうつう}世界共通のシンボルマークです。

障がいのある人が車に乗っていることを知らせたり、障がい者用の^{しやよう}駐車場^{ちゅうしやじよう}を知らせたりすることに使われています。



◆耳の不自由な人のマーク

耳の不自由な人が、^{まわ}周りの人に^{なまえ}名前を呼ばれても^き聞こえないことを知らせるマークです。

このマークを貼った^は銀行の^{ぎんこう}通帳や^{つうちよう}病院の^{びやういん}診察券^{しんさつけん}などを見せ、^{もじ}文字を書いてやり取りをしたり、^とはっきり^{くちもと}口元を見せて話したりしてもらいます。



◆多治見市のバリアフリーマーク

多治見市では、バリアフリーについて一定の^{いってい}条件^{じょうけん}にあてはまる^{みせ}お店や^{しせつ}施設にこのマークを^{くば}配り、^{いりぐち}入口に貼ってもらうようにしています。

障がいのある人や^{ちい}小さな^こ子どもを^つ連れた人たちが、お店や施設などを^{えら}選ぶときの^{さんこう}参考にできます。

◆いろいろなマーク

^{しんたいしょうがいしゃひようしき}
身体障害者標識



^{ちようかくしょうがいしゃひようしき}
聴覚障害者標識



^{けん}
ほじょ犬マーク



^{からだ}体の不自由な人や耳の不自由な人が^{うんてん}運転するときに^{じどうしゃ}自動車に貼る身体障害者標識や聴覚障害者標識、^{もうどう}盲導犬などの身体障害者補助犬を表す^{ほじょ}ほじょ犬^{あらわ}マークなどがあります。

このほかにも、マークがないかさがしてみましょう。

◆福祉体験の様子と感想

しょうがっこう なか
小学校の中には、こんなふうに福祉体験をしているところがあります。

体験して、わかったことや感じたことをみんなで話し合ってみましょう。



《福祉体験をした小学生の感想》

アイマスクをして自動販売機で飲み物を買う時、点字がないと、とても時間がかかり大変でした。

車いすに乗っている人は、何か危険なことがあったときに、私たちみたいにすぐに逃げられないので、大変だと思いました。

目の前が真っ暗ということは、とてもこわい感じがしました。もし、近くに目の不自由な人たちがいたら、こわい思いをさせないように助けたいと思います。

◆赤い羽根共同募金

みなさんも知っている赤い羽根共同募金で集まったお金は、次のようなことに使われています。

寝たきりのお年よりや一人で暮らしているお年よりの生活を助ける活動。

(例) ひとり暮らしのお年よりに小学校の児童から年賀状を送る活動など。

体や心に障がいのある人が安心して暮らせるためのお手伝いをする活動。

(例) 障がいのある人が集まってお話やレクリエーションをしたり、地域の人と交流したりする障がい者サロン活動など。

誰もが支え合う地域づくりのために、みんなで福祉のことを考える機会を提供する活動。

(例) 広報の発行や福祉一行詩コンクールなど。



障がい者サロン活動の様子

「ありがとう」は魔法の言葉。
こちらこそ「ありがとう」

あらかわ ひかる しょうわ ねん
荒川 光 (昭和小学校6年)

福祉一行詩コンクールの平成 23 年度入賞作品

この他にも、いろいろなことに募金は使われています。

もっとくわしい内容や、どんなことに使われているか調べてみましょう。



赤い羽根共同募金のホームページアドレス

<http://www.akaihane.or.jp/children/body1.htm>



赤い羽根
共同募金

◆ユニバーサルデザインの商品

誰もが使いやすいように工夫されているユニバーサルデザインの商品には、いろいろなものがあります。



力の弱い人でも簡単に抜くことができるように、つまみのついたコンセント



左利きの人でも使いやすいように、どちらの手でも使うことができるハサミ



幼い子やお年よりが口に入れやすいように、すくう部分が手前に曲がっているスプーン

他にどんな商品があるか、調べてみましょう。



『ようこそ共用品ワールド』のホームページアドレス

<http://www.kyoyohin.org/kyoyoworld/index.html>

編集委員（50 音順）

伊藤 一浩	福祉関係団体から推薦を受けた方
大村 浩司	特別養護老人ホーム エバーグリーン
岡田 嵩英	多治見市職員
奥村 靖	共栄小学校 教諭
勝野 和広	南ヶ丘中学校 教諭
後藤 紀男	多治見市職員
谷口 順子	笠原中学校 教諭
中嶋 信啓	多治見市教育研究所
古山 直樹	多治見市社会福祉協議会
渡辺 雅司	滝呂小学校 教諭

表紙絵

上村 数洋 「天までとどけ」 ふれあいアートステーション・ぎふ登録作品

表紙裏詩・絵

伊藤 一浩

挿絵

藤井 理恵 精華小学校 教諭（平成 17 年 3 月時点）

参考文献

ボランティアに役立つはじめてであう点字⑤バリアフリーをめざして／岩崎書店
やってみよう！はじめての手話①手話をはじめよう／岩崎書店
からだが不自由って、どんなこと？②バリアフリーの町に！／(株)学習研究社
総合的な学習のテーマが見つかるアイデア新聞④健康・福祉・ボランティアを体験／金の星社
わたしたちにもできるこれからのボランティア②ボランティアをはじめよう実践編①／文研出版
わたしたちにもできるこれからのボランティア③さまざまなボランティア実践編②／文研出版
「障害」について考えよう②目でしっかりきく 耳に障害のある子どもたち／ポプラ社
「こころ」を伝えるボランティアの本②あいさつだってボランティア／光村教育図書
「こころ」を伝えるボランティアの本④まちがいだらけのボランティア／光村教育図書
マークのずかん／すずき出版

撮影協力・写真提供

伊藤一浩、加藤昭子、小林康史、市之倉地域福祉協議会、財団法人中部盲導犬協会、サンホーム滝呂、太平児童センター、太平地域包括支援センター、多治見警察署駅前交番、多治見市社会福祉協議会、多治見市障害者福祉センター、多治見市老人福祉センター、多治見南消防署、ふれあいサロン養正、ユニバーサルデザイン研究会、市内小学校

（敬称略）

平成 24 年 3 月 改訂版発行

編集発行	多治見市役所福祉部福祉課 多治見市日ノ出町 2 丁目 15 番地 TEL 0572-22-1111 (代)
作成費用	381,150 円 (税込)
作成部数	1,500 部

※この印刷物は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

※リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

※この印刷物は、A ランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。



この冊子は植物油インキを使用しています